授業科目名・形態	リプロダクティブ・ヘルス／ライツ　講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	岩間　薫・山下　梓	実務経験の有無	有	開講期	1年後期
科目ナンバリング	C2-1001m				

【授業の主題】

ジェンダー概念に関連する諸事象を歴史的視点から学び、リプロダクティブ・ヘルス／ライツの概念・意義等を国際的視点から捉えながら、セクシュアリティとジェンダー、医療・看護とセクシュアリティ、女性の健康問題・社会問題等について理解する。さらに、リプロダクティブ・ヘルス／ライツの実現に向けて考察し、行動することができるための知識を身に付ける。

【到達目標】

1. ジェンダーと人権に関わる問題について理解する。
2. リプロダクティブ・ヘルス／ライツの意味・概念を理解し、問題点を見出すことができる。
3. 医療現場、看護におけるセクシュアリティに関わる問題について理解する。

【授業計画・内容】

第 1 回	オリエンテーション、ライフライン（人生設計）	(岩間)
第 2 回	リプロダクティブ・ヘルス／ライツの概念と歴史的背景①	(山下)
第 3 回	リプロダクティブ・ヘルス／ライツの概念と歴史的背景②	(山下)
第 4 回	ジェンダーとリプロダクティブ・ヘルス／ライツ	(山下)
第 5 回	インターセクショナリティとリプロダクティブ・ヘルス／ライツ	(山下)
第 6 回	グローバル視点からみるプライマリケア提供者のコアコンピテンシー	(山下)
第 7 回	医療・看護とリプロダクティブ・ヘルス／ライツ	(岩間)
第 8 回	女性に対する暴力と性の健康	(岩間)
第 9 回	リプロダクティブ・ヘルスを阻害する問題①	(岩間)
第 10 回	リプロダクティブ・ヘルスを阻害する問題②	(岩間)
第 11 回	リプロダクティブ・ヘルス／ライツ確立に向けて①	(岩間)
第 12 回	リプロダクティブ・ヘルス／ライツ確立に向けて②	(岩間)
第 13 回	リプロダクティブ・ヘルス／ライツ確立に向けて③	(岩間)
第 14 回	リプロダクティブ・ヘルス／ライツ確立に向けて④	(岩間)
第 15 回	まとめ	(岩間)

【授業実施方法】

基本的には講義形式で行うので主体的に授業に参加すること。
第 11～14 回　グループワーク：課題を提示してディスカッション、資料作成、その後発表してもらいます。

【事前・事後学習】

課題学習、試験対策等を含めトータル 60 時間程度の自主学習を行うこと。

【主な関連する科目】

母性とセクシュアリティ、母性看護学概論、母性看護方法論Ⅰ、母性看護方法論Ⅱ、母性看護学実習、助産科目

【教科書等】　資料を配付

【参考文献】　適宜提示

【成績評価方法】

筆記試験 80％（山下 30％・岩間 50％）、授業への取り組み姿勢・グループワークの発表内容等 20％により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

国公立大学医学部附属病院で助産師として産婦人科病棟や外来において母性各期にある女性や妊産褥婦およびその家族への対応や看護等の実務経験あり。
実務経験から得た助産師としての知識や技術を医療・看護とセクシュアリティ、女性の健康問題・社会問題等について授業に活かしていきたい。

【学生へのメッセージ】

医療従事者になることを目指している皆さん。社会で起きている性に関する健康問題、セクシュアリティについて一緒に考えてみませんか？
＊助産師に興味のある人、助産師になりたいと思っている人は、必ず履修してください。